

事務事業評価シート

(H.28)No.	2046	(H.27)No.	2046
-----------	------	-----------	------

事務事業名	福祉手当給付事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	障害福祉室	田中資三	

会計区分	事業コード	168009
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	障害者福祉費	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 障害者福祉費	福祉手当給付事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本施策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	2	障害者福祉
	小施策	2	生活環境・健康づくり
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
障害者福祉の向上
事業内容
○国の特別障害者手当 重度の障害がある障害児に障害児福祉手当を、又著しく重度の障害がある者に特別障害者手当を支給する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	
主な事業の実績・計画	特別障害者手当 :26,000円/月×延べ120人 26,620円/月×延べ555人 障害児福祉手当 :14,140円/月×延べ89人 14,480円/月×延べ458人 給付費:25,784千円 国費返還金:307千円	特別障害者手当 :26,620円/月×65人×12月 障害児福祉手当 :14,480円/月×55人×12月	特別障害者手当 :26,620円/月×65人×12月 障害児福祉手当 :14,480円/月×55人×12月	特別障害者手当 :26,620円/月×65人×12月 障害児福祉手当 :14,480円/月×55人×12月	特別障害者手当 :26,620円/月×65人×12月 障害児福祉手当 :14,480円/月×55人×12月	特別障害者手当 :26,620円/月×65人×12月 障害児福祉手当 :14,480円/月×55人×12月

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	26,091千円	29,000千円	29,000千円	29,000千円	29,000千円
内訳(千円)					
国・県支出金	19,756	21,750	21,750	21,750	21,750
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 6,335	7,250	7,250	7,250	7,250
人工数					
職員	0.56人	0.27人	0.27人	0.27人	0.27人
臨時職員等		0.04人	0.04人	0.04人	0.04人
②概算人件費	(0千円) 4,256千円	2,120千円	2,120千円	2,120千円	2,120千円
①+②総事業費	(0千円) 30,347千円	31,120千円	31,120千円	31,120千円	31,120千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
※「考察」及び「今後の対応方針」の記載対象外の事務事業	

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	障害者福祉の向上
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
障害者総合支援法に基づき、重度の障害者に対して、障害者福祉の増進を図るための国の事業である。	名張市障害者福祉計画、名張市障害福祉計画